

製品名: CD275 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08322**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ICOSLG
別名	ICOS ligand (B7 homolog 2; B7-H2; B7-like protein GI50; B7-related protein 1; B7RP-1; CD antigen CD275)
遺伝子 ID	23308.0
SwissProt ID	O75144
免疫原	アミノ酸配列範囲: 201~250 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

背景

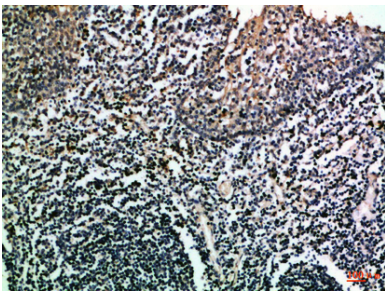
代替製品: 追加のアイソフォームが存在するようです。機能: T細胞特異的細胞表面受容体 ICOS のリガンド。T細胞の増殖とサイトカ

イン分泌の共刺激シグナルとして作用し、B細胞の増殖と形質細胞への分化も誘導します。炎症状態に対する局所組織反応の媒介、および記憶T細胞の機能の共刺激による二次免疫反応の調節において重要な役割を果たす可能性があります。誘導:末梢血B細胞および単球では、TNF- α 処理により恒常発現がさらに促進されますが、樹状細胞では低下します。配列注意:理由は不明ですが、この配列は位置300以降に示されている配列と異なります。配列注意:翻訳によりN末端が短縮されています。類似性:免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。BTN/MOGファミリー。類似性:Ig様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを1つ含みます。類似性:Ig様V型(免疫グロブリン様)ドメインを1つ含みます。組織特異性:アイソフォーム1は広く発現しています(脳、心臓、腎臓、肝臓、肺、膵臓、胎盤、骨格筋、骨髄、結腸、卵巣、前立腺、精巣、リンパ節、白血球、脾臓、胸腺、扁桃腺)。一方、アイソフォーム2は、リンパ節、白血球、脾臓にのみ検出されます。活性化単球および樹状細胞で発現します。代替製品:追加のアイソフォームが存在するようです。機能:T細胞特異的細胞表面受容体ICOSのリガンドです。T細胞の増殖およびサイトカイン分泌の共刺激シグナルとして機能します。B細胞の増殖と形質細胞への分化も誘導する。炎症性疾患に対する局所組織反応の媒介、ならびにメモリーT細胞機能の共刺激による二次免疫応答の調節において重要な役割を果たす可能性がある。誘導:末梢血B細胞および単球では、TNF- α 処理によって恒常的発現がさらに促進されるが、樹状細胞では減少する。配列注意:この配列は、理由は不明であるが、300番目以降に示されている配列と異なる。配列注意:翻訳によりN末端が短縮されている。類似性:免疫グロブリンスーパーファミリーに属する。BTN/MOGファミリー。類似性:Ig様C2型(免疫グロブリン様)ドメインを1つ含む。類似性:Ig様V型(免疫グロブリン様)ドメインを1つ含む。組織特異性:アイソフォーム1は広く発現している(脳、心臓、腎臓、肝臓、肺、膵臓、胎盤、骨格筋、骨髄、結腸、卵巣、前立腺、精巣、リンパ節、白血球、脾臓、胸腺、扁桃腺)のに対し、アイソフォーム2はリンパ節、白血球、脾臓にのみ発現している。活性化単球および樹状細胞に発現する。、

研究分野

細胞接着分子(CAM);IgA産生のための腸管免疫ネットワーク;

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は1:100に希釈された